

## 日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和8年3月25日（水）13：30～14：00  
場 所：日本薬剤師会 小会議室4  
出 席 者：岩月会長、上野専務理事

### 内容・提出資料：

#### 1. 会長候補者及び副会長候補者選挙候補者一覧表の送付について (令和8年3月16日 日薬発第278号)

上野専務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

3月28日、29日に開催を予定している第107回臨時総会では、「日本薬剤師会会長候補者及び副会長候補者選挙の件」を議案としている。会員（代議員）の総意を確認するために候補者という形で、事前に3月の臨時総会において候補者を選ぶというプロセスを踏んでいる。候補者の届出は3月16日を以て締め切り、候補者名簿、略歴、趣意書を会内掲示するとともに、都道府県薬剤師会、代議員等へ送付したところである。

会長候補者は岩月進の1名、副会長候補者は届出順に、原口亨、荻野構一、渡邊大記、川上純一、豊見敦の5名である（敬称略）。

#### 2. 「日薬アプリ」誕生告知チラシ（会員向け）データの配布について（お知らせ） (令和8年3月17日 日薬総発第27号)

上野専務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

「日薬雑誌アプリ」に続き、会員向けサービスとして「日薬アプリ」の運用を4月に開始する。会員への周知を目的に、誕生告知チラシを作成し、都道府県薬剤師会宛て送付するとともに本会ホームページの会員向けページに掲載した。アプリにはデジタル会員証が表示されるほか、本会ホームページに掲載される「日薬ニュース」「日薬メールナビ」などの新着通知をプッシュでリアルタイムに発信する機能を持つ。アプリのリリース時には、ダウンロード用のQRコードを掲載したバージョンのチラシに更新し案内する予定である。また、将来的な機能拡大として、本会から会員区分別（学生会員限定など）へのプッシュ通知や、アンケート機能の開発なども検討している。

#### 3. 薬局掲示用「ドーピング防止カード」について（ご活用のお願い） (令和8年3月17日 日薬情発第205号)

上野専務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

この度、薬局店頭で活用いただける「ドーピング防止カード」を作成し、都道府県薬剤師会を通じて会員に周知したところである。本カードは、薬局で取り扱う一般用医薬品のうち、ドーピング該当物質が含まれていない商品の棚にPOP掲示し、スポーツに取り組む方への支援や薬剤師による相談のきっかけとなることを目的としている。

これまで国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等を開催した都道府県薬剤師会等においては、同趣旨の資材を既に作成しているが、これら以外の地域においても活用いただけるよう、本会のアンチ・ドーピング委員会にて作成した。アンチ・ドーピング機構が発行する「禁止表」が毎年1月1日に更新されることを踏まえ、カードの有効期限については（1月1日から同年12月31日まで）と印字しており、漫然と掲示することのないよう、翌年も使用が可能かどうか、必ず確認を行った上で掲示することなどを定めた「利用規約」と併せ、本会ホーム

ページの会員向けページよりダウンロードできるようにしている。

主な質疑応答は以下のとおり。

**【日薬アプリについて】**

**記者：**利用を拡げるために、ダウンロードを必須としたうえで、会員がアプリ経由でしかできないことをアプリ上で展開するなど、何か方策は検討しておられるか。

**上野専務理事：**まずは現状の予告チラシをもって周知、リリース時にはダウンロード用のQRコードを掲載したチラシに更新し利用を拡げていきたい。紙の本会の会員証の送付は本年度で終了する。今後、会員証の確認はアプリでの表示に限定されるため、研修会等での会員証提示の際に利用いただきたい。また、研修会等で活用可能なQRコード画像の登録などの機能追加も今後検討し、様々な場面で便利に使えるアプリを構築していきたい。

**【松本 純先生のご逝去について】**

**記者：**3月19日に松本先生が亡くなられた。今の想いはいかがか。

**岩月会長：**巨星墜つという想い。松本先生が頑張ってくられたことを、我々がどう引き継ぎ、次世代に渡していくのか、そういったことを哀惜の念と共に考えている。

**【薬剤師議員と日薬の連携会議について】**

**記者：**渡嘉敷奈緒美衆議院議員の発案で、薬剤師国会議員（本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員、藤田洋司衆議院議員）と日薬の連携会議が発足したことについて見解はいかがか。

**岩月会長：**渡嘉敷先生がリーダーシップを取っていただき、こういう場を設けていただけることは大変ありがたい。国が社会保障費用全体をどう見て、国会でどういった議論があるかなど伺いながら、現場の課題などをお伝えしたい。

次回の定例記者会見は、令和8年4月8日（水）11：30～を予定。